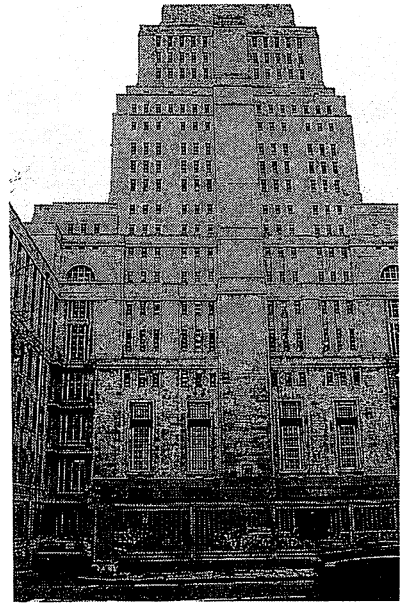


ロンドン大学東洋学アフリカ学院

密教文化研究所講師

森 雅 秀

ロンドン大学本部



数年前に「ラストエンペラー」という映画があった。清朝最後の皇帝溥儀の生涯を描いたものだが、その

略称SOASである。SOASはロンドン大学のカレッジのひとつである。ロンドン大学には四〇余りのカレッジがあり、それぞれが独立した組織と建物をもっている。「私はロンドン大学の学生です」と言っても、「私はロンドンにある大学の学生です」と言っていることとあまり変わりはない。ロンドンのガイドブックには、大英博物館の裏手にロンドン大学があるとしばしば書かれているが、この建物は大学の本部と図書館であって、授業も講義もここでは行われていない。

ジョンストンのいた半世紀以上も前のSOAS（当時は東洋学院）とは比較にならないほど、現在のSOASは巨大化している。世界中を見渡してみても、この分野の研究機関でSOASと肩を並べるものはほと

中にジョンストンという名のイギリス人家庭教師が登場する。「紫禁城の黄昏」の著者として知られるこのイギリス人が、帰国後に教鞭をとったのが、筆者が半年間の予定で研修を行っている東洋学アフリカ学院（School of Oriental and African Studies）

んどないのではないか。アジアやアフリカを専門とする研究者にとってSOASは特別な存在なのである。現在、スタッフの数は約二百名、これが一五の部門に分れている。さらに各部門を横断する形で一〇のセンターがあり、スタッフは複数の部門とセンターにクロスオーバーして所属する。日本の大学の小講座にみられるようなタコ壺化は初めから防がれている。

日本のインド学に相当するのは「南アジアの言語と文化」とよばれる部門であるが、仏教学がこの分野の中心を占める我が国の常識からはかけはなれている。たとえば、スタッ

東洋学アフリカ学院玄関



フの専門とする言語にはヒンディー、グジャラティー、ウルドゥー、ベンガリー、パンジャビー、ネパールとさまざまである。サンスクリットはそのうちのひとつでしかない。近代語を中心に構成されているのだ。仏教学は「宗教学」の部門にも含まれているが、こちらにはヒンドゥー教、シーク教、ゾロアスター教、道教、それにアフリカの諸宗教等々の専門家が目白押しである。ここでは仏教はなんら特別な位置を占めていない。

とはいってもSOASの中で仏教学がしいたげられているわけでは決していない。仏教に関する講演会やセミナーが開催されれば、多数の参加者がある（筆者の滞在中にはケンブリッジ大学名誉教授のK・R・ノーマン氏の連続講演があり盛況であった）。他の部門、たとえば人類学、芸術、歴史、政治などにも仏教に関心をもつスタッフは多いし、それぞれの立場からの研究も可能である。

この国で仏教の研究を進めるためには、まず南アジア研究、あるいは人文学一般の中でこの学問が占める位置と、自分自身の立場や方法論をはっきりと確認しておく必要があるようだ。

* 平成7年度学生募集 *

入 試 要 項

<入試日程>

		願書受付期間	試験日	合格発表	試験場
文 学 部	指定校制推薦入試	6年10月11日(火)~10月19日(水)	10月22日(土)	10月28日(金)	本 学
	公募制推薦入試	6年11月7日(月)~11月22日(火)	12月4日(日)	12月12日(月)	
	一般入試	7年1月11日(水)~1月26日(水)	2月7日(火)	2月16日(水)	
大 学 院	修士課程	6年12月1日(水)~12月15日(水)	12月20日(火)	12月22日(水)	
	博士後期課程				

<入試科目>

文 学 部	指定校制推薦入試	小論文	面 接 を 課 す
	公募制推薦入試	国語Ⅰ(古文・漢文を除く) 英語Ⅰ	
	一般入試	国語Ⅰ・Ⅱ(古文・漢文を除く) 英語Ⅰ・Ⅱ	
大 学 院	修士課程	密教学専攻	密教学 密教史 語学(英語・独語・仏語から一科目選択) 論文
		仏教学専攻	仏教学 仏教史 語学(英語・独語・仏語から一科目選択) 論文
	博士後期課程	密教学専攻	専門科目 語学(英語・独語・仏語から一科目選択)
		仏教学専攻	

<課程、学科・専攻>

文学部	密教学科 70名、仏教学科 70名、人文学科〔中国哲学専攻 10名、西洋哲学専攻 10名、国文学専攻 40名、英米文学専攻 20名、国史学専攻 20名〕、社会学科〔社会学専攻 20名、社会福祉学専攻 20名〕計280名(修業年限4年)
別科	30名 真言宗僧侶の短期養成を目的とするコース(修業年限2年)
大学院	修士課程 密教学専攻 5名、仏教学専攻 5名(標準修業年限2年)
	博士後期課程 密教学専攻 3名、仏教学専攻 3名(標準修業年限3年)

- 注1. 第2学年・第3学年編入学試験は、一般入試の期日により実施する。〔推薦入試はない。〕
- 注2. 別科募集は、一般入試で行なう。〔推薦入試はない。〕
- 注3. 出願は、全て郵送による。〔締切日の消印有効〕
- 注4. 公募制推薦入試は、専願・併願いずれかを選択、一浪可、評定平均値不問。専願・併願を併せて募集人員の約40%を募集する。そのうち、密教学科・仏教学科志望の専願者に限り約半数を本宗寺院後継者枠とする。

●問合せ

高野山大学教務課入試係
〒648-02 和歌山県伊都郡高野町
高野山 ☎0736(56)5027
テレホン入試ガイド☎0736(56)4848

学報 No.32

高野山大学学報

発行人/楠 公誠
編集/学報編集委員会
発行所/高野山大学

〒648-02

和歌山県伊都郡高野町

☎(0736)56-2921

印刷所/第一印刷出版株式会社

1994年7月1日発行

編集後記

現在、日本中の大学が大改革を迫られています。教育内容、カリキュラム等が時代の流れに呼応する様に、殆どすべての大学、大学院が変革を推し進めています。日本の教育史上、画期的なものだと言えるでしょう。

本学も例外ではありません。高野山大学自己点検・評価の実施組織を設けて、改革を進行させています。そこで、今号に於いて、点検・評価基本事項検討委員会委員長の谷川泰教授にその改革の現状について、御執筆を御願い致しました。そのアウトラインが御分り願えるかと存じます。

(T・Y)